

令和6年度「中スク」中部地区小・中学校生徒指導担当者研修会

この研修会は、中部地区小・中学校におけるいじめ、不登校、問題行動等の生徒指導上の諸問題の解決に向けて、担当者としての知識や見解を深め、指導力の向上を図ることを目的として毎年開催しています。今年度は年2回の開催とし、第1回を「いじめ対応」を主テーマとして研修を行いました。

研修会では、講義や演習をとおして、活発な意見交換や情報交換がなされ、担当者同士のつながりをつくる良い機会となりました。また、いじめの事案に対する適切な対応について、「未然防止と早期発見・早期支援の大切さ」「校内における組織対応と連携の重要性」「事象の背景に目を向け、児童生徒をしっかりと理解し支援することの大切さ」等について認識を深めることができました。

参加者の振り返りを幾つか紹介します。

- チームで対応するために役割分担とシステム化が大切だという話を聞いて、校内の体制を今一度見直そうと思いました。また、事後対応ばかりではなく、予防にも力を入れたいと感じました。
- 生徒指導主事を中心とした情報交換、役割分担をより一層図っていきたいと思います。生徒が社会で充実して生きるための力を身につけるために、教職員全体が共通の目的を持ち、生徒に接していきたいです。忙しくなるときこそ、職員会や学年会等で研修で行ったケースワークを取り入れていきたいと思います。
- 各事象に対する対応の仕方によって信頼を得ることもその逆になりうることもあると改めて感じました。児童や保護者の思いに寄り添った生徒指導を行うためにも、組織で対応することを引き続き意識していきたいと思います。
- 生徒指導担当としての役割を再確認することができました。職員間でいじめに対する認識の違いが起きないように、早めに確認し、いじめの対応についての職員研修を実施していきたいと思います。



第2回生徒指導担当者研修会は「不登校支援」を主テーマとして8月19日（月）に開催します。